

沖縄の過去、そして今

喜名小学校六年一組平良 妃奈

私は戦争のことを調べていると、いつも「なぜ戦争が起こるのだろう。」と思います。

私は今、総合の学習で戦争のことを調べていて、「戦場又童」というビデオを観ました。ビデオでは、アメリカ兵が日本人を撃つたり、死体の上を平気で歩いているのを見て、とてもおくなりました。私は、このビデオを観て、分かったことは、沖縄県は、もともと激しい激戦地だったということです。

喜名小学校

私のひいおじいちゃんも、日本兵として戦い、七くなりました。

今の沖縄は、戦後六十五年を迎えています。でも決して、「平和」とは言えません。それは、飛行場跡や、基地がまだたくさん残っているからです。

沖縄県は、日本の中でも基地が密集している場所です。基地は、騒音や、つい落事故などをおこして、人々に不安を与えています。

基地はなぜそんなに必要なのでしょうか。
なぜ、基地をなくさないののでしょうか。私は
とても疑問に思います。

もし私が大人になっても、基地が一生なく
ならないという事になったら、今から生まれ
てくる子どもたちには、「基地がある沖縄が
あたり前の生活」になっってしまうと思います。
本当にそれでもいいのでしょうか。

日本は、「沖縄ばかりに基地があるのは、
かあいそう。」と思ってるのは、自分が住ん

でいる県に知るところ、「それはまったく
え」と言い、断ります。私も、沖縄にい
なくて、他県の立場になったら、絶対に断
るのは、当たり前だと思います。がえもいら
ない基地なら、なくした方がいいと思います。
まだ世界では、戦争がおこっています。沖
縄でもう二度と戦争をおこさないためには、
友達と仲良くするなどの、身近なことから始
めたらいいと思います。

私は、これからも祈り続けます。

「世界が永久に平和ひまひま
すよしの」

喜名小学校